

 いわみざわ公園バラ園 www.iwamizawa-park.com

「なすび」と「ナス」の違いが生まれたのは…

人や地域によって「なすび」と言う人「ナス」と言う人がいますね。あなたは、どちらですか？以前にTBSテレビの「この差ってなんですか？」をご覧になった方はおわかりでしょう。ナスは奈良時代に中国からきた野菜で、当時は貴重な食べ物で天皇や貴族の身分の高い人しか食することができなかつたようで「那須比（なすび）」と呼ばれていたそうです。当時のナスは酸っぱい食べ物で「中身が酸っぱい」→「なか酸味」→「なすみ」→「なすび」と名前が変化して「那須比」と言う漢字があてられ、当時の都のあった関西地方から広がったようです。江戸時代に、徳川家康の好物だったが、関西地方を中心につくられていた野菜のためなかなか手に入らず、家康は「なすびをつくらせろ！」と命じ、江戸でも広まったのですが、生産量が少なく高価だったためなかなか売れなかつたので、商人は「縁起の良い野菜として売り出そう」と考え「ナス」すなわち「成す」=事を成し遂げる、成功する=「縁起の良い野菜」とし多くの人に広めたようです。結論は、関西ではもともと伝わってきた「なすび」と言う名で広がり、関東では、なかなか売れなかつた「なすび」を縁起物として「ナス」と名を変えただけで、どちらを使っても間違いではないようです。（ながやす）

今月の便り

植物と暮らす

植物に触れる機会の少ない冬は、写真や言葉を使って心の中に緑を増やしましょう。例えば私たちが「深い森」という言葉を見たり聞いたりすると、瞬間的に各自の頭の中に記憶にある「深い森」が浮かびます。でも「森」を見たことがない人には画像は浮かばず、脳内の森林浴はできません。どうぞ美しい植物の画像や動画をたくさん見てください。それらの写真は自分ではない誰かの記憶。生きている植物と直接出会い、そこから生まれた感動を写真や動画など媒体を使って伝えてくれた「他の人の記憶」です。人間は唯一、記憶や感動をを他者に分かちあえる生き物ですから。加えて誰かの伝えてくれた植物のウンチクを知ること、ついにはあなたも本物を見てみたい！なんて気持ちになり動いてしまうかもしれません。知ることを楽しむ、も植物との触れ合いの第一歩になります。どうぞ美しい庭の写真や園芸品種だけではなく、地上のあらゆる植物の情報を目や耳から入れてください。そんなことも植物と暮らす豊かな生活に繋がるような気がします。（きのした）

オクエゾサイシン

オクエゾサイシンはウマノスズクサ科カンアオイ属で低地～亜高山の湿った林内に生える高さ10cm程の多年草です。“オクエゾ”は蝦夷の奥地に生息するという意味で“サイシン”はこの植物の生薬名「細辛」（乾燥させた細い根が咳止め、鎮痛に用いられ、辛味がある）から来ています。5月～6月に茶色がかった紫色の花をつけますが花びらはなく丸い筒状の萼（かく）が花に見えます。直径1cmほどの鈴状で、ウマノスズクサ科の名前の由来になっています。根元から短い花柄を伸ばして咲き、葉の陰に隠れているので、葉をよけてみないと花の存在に気付きません。葉はハート型をしていて先がややとがります。生息域は道央から道北、道東にしか見られません。そしてまたこの植物を食草としているエゾヒメギフチョウもまた同じ分布域になります。サイシンの仲間、カンアオイの仲間は日本全国にたくさん分布していますが道南にはなく東北の高山にオクエゾサイシンの分布があるのは謎です。（いとう）

雪の少ない年に思う

今年は全国的に雪が少なく、ここバラ園やスキー場にとってもありがたい状況です。いつもは寒さに弱い植物も雪に埋もれて保護されるのですが、今年は雪から顔を出したり、風当たりが強い場所にある木々は心配です。春先にも寒風で脱水して被害を受けることがあるからです。今後もあまり積もらなければ、軽い新雪を追加でかけることも考えましょう。場合によっては防風ネットを巻くなどして養生します。どうしてよいかわからないときは、みどりの相談員にお尋ね下さい。

(かわはら)

多肉植物について

近年、多肉、サボテンなど多彩な種類の中、個性派の物が数多く流通しています。人気の秘密は、管理が楽とかフォルムが個性的、花が咲いたら可愛いと多様化しています。大きく分けて3パターンの生育管理に分かれます。冬型・夏型・春秋型のうち比較的寒さに強い種類・寒さが苦手な種類に分けて生育管理する事で、冬越しの失敗を回避することができます。北国の岩見沢では置き場所の工夫次第で多肉植物の管理も楽しめます。置き場所水やりの工夫など品種による管理を覚えておく事や、分球させて増やしてみたり葉挿しで増やしたりと多肉植物へのワクワク感も楽しめます。(たかはし)



室内公園 色彩館

ハーデンベルギア (ヒトツバマメ・コマチフジ)

Hardenbergia violacea

マメ科ヒトツバマメ属

原産地：オーストラリア



よく『コチョウランを小さくしたような形』と云われ、小花が好き人にはたまらない花です。色彩館では電灯のポールにつるを這わせて植栽しています。花後には半分～1/3 ほどに切り戻し、かなり思いきった剪定をしますが、開花する時季までにはポールの上まで伸び見事に復活を遂げます。北海道での屋外越冬は難しいですが、行灯仕立てなどでコンパクトにしても楽しめます。

今月の開花情報



ナスビを種から育ててみませんか…

ナスビの発芽温度は 20～30 度で、最低で 10 度は必要と言われています。また、ナスビの種は、昼間と夜との温度差が 10 度位のとときに、良好で揃って発芽します。例えば、昼間 25 度、夜 15 度だと揃った良い発芽をします。と言うことは、冬期間(北海道の場合)一般のご家庭で日中暖房を焚いて室温が高く、夜は暖房を絞っても 10～15 度は有ると思います。種まきの日は、定植(路地に移植)から育苗日数(種まきから約 80～90 日)を、逆算して決めます。

例→岩見沢では、5 月末に定植するとして、2 月の末～3 月始め、～4 月始めに種まきをすると、初秋に美味しい秋ナスビが収穫できます。



ひとつき ひとバラ



文：田中 伸枝
(いわみざわ公園バラ園)



第六十八回

シュラブローズ

カスバート グラント

Cuthbert Grant

作出国：カナダ

作出者：Marshall

作出年：1958年

ハーディネスゾーン：Z3

繰り返し咲き性

交配：[RSM18 (Crimson Glory ×
Assiniboine)] × Assiniboine

カスバート グラントは、バラ園入口正面の花壇 ハンザランドの後ろ側に植えています。紫味を帯びたダークレッドで、花径10cmほどのグラマーでエレガントな大輪を堂々と咲かせ、近づくるとふんわりと芳醇な香りも漂います。うつむきがちに咲く大輪はとても気品があり美しく、しかも周りのバラよりもひと足…いや、ふた足ほど早く開花してくれて、例年6月上旬ごろには花が見られますので、筆者は密かに『カスバート グラント姉さん』というあだ名を付けています。そして驚きなのはこの美しさとは裏腹な強健性です。ハーディネスゾーンはZ3、約-40℃～-35℃の耐寒性があります。耐病性に関しては、モントリオール植物園の耐病調査（うどんこ病・黒点病・さび病）において、感染率が5%以下であることが分かっています。シュラブ樹形で高さ・巾ともに1mほどとコンパクトで扱いやすく、それほど難しい剪定を必要としないので、寒冷地でバラを栽培したい方、初心者やローメンテナンス主義の方、さらにはハイブリッドティーのような大輪が好きな方にピッタリな品種だと思えます。ちなみに、私個人的には『姉さん』なのですが、品種名の由来はカナダの指導者（男性）の名に由来します。

作出者の Henry H. Marshall 氏は、ブランドン州立実験農場・モーデン農業研究所に勤めていた植物博士です。バラだけではなく、ユリ・マスクメロン・トマト・ヤナギなど約40以上の野菜や植物の育種をしており、カナダの園芸界に貢献した人物です。1967年には、カナダ100周年メダル(日本でいう褒章のようなものでしょうか?)とブランドン大学名誉博士号を授与され、さらに没年翌年の1995年には、マニトバ州農業協会の殿堂入りを果たしました。モーデン市庁のバラ園に銅像があるそうです。バラの育種に関しては、地元にも分布する原種 *Rosa arkansana* (ロサアーカンサーナ、プレーリーローズ) を基にした、なんとも堅実といえる交配を行うことで、厳しい気候のカナダに根付くような品種を作ることになりました。この品種に用いられた Assiniboine も *R.arkansana* の交配種で、無名の苗 'RSM18' には、ハイブリッドティー系統の *Crimson Glory* とさらに Assiniboine が用いられていることが分かりました。確かに美しい色・香り・花容は *Crimson Glory* に似ています。また、この品種の系統名にたまに見られる *Hybrid suffulta* という表記の *suffulta* とは *R.arkansana* のことを指します。



最終日
2/23 (日) は
講習会も
あります

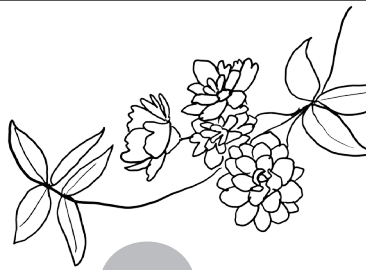
第11回 入場無料 いわみざわ洋らん展

日 2020年2月20日(木)~
程 2月23日(日)

時間：9:00~17:00(最終日は16:00まで)
場所：いわみざわ公園バラ園内
室内公園 色彩館ロビー

出展募集

丹精込めて育てたあなたの一鉢を出展して、会場をランの花園にしてみませんか？
出展料は何点でも無料です。
お申し込み：2月15日(土)までに洋ラン愛好会 秋葉さん (0126-56-2110) まで



同時開催！
はるまちマルシェ
with バラ園
12:00 ~ 16:00
(色彩館ロビー)
手作り雑貨や
お菓子がズラリ♪

中国の楽器二胡(にこ)との競演。
ひとあし早いうららかな春を感じませんか？
中国原産のバラ 木香薔薇(モッコウバラ)が
咲く色彩館で、

二胡演奏会
木香薔薇(モッコウバラ)と
奏でる
二胡(にこ)の調べ

Shoko - Erhe (二胡)
(ever green / miaoumiaou)
Ryo - Gt. (ギター)
(ever green 二胡&ギター ユニット)
Mimi - Syn. (シンセサイザー)
(miaou miaou 二胡&シンセ ユニット)

3月20日
金曜日・春分の日
14:00 ~

場所 いわみざわ公園バラ園内
室内公園「色彩館」大温室
入場料 高校生以上 100円
小中学生 50円
※幼児無料・障がい者手帳ご提示で
ご本人様と付添人様1名まで無料

今月の市民園芸講座のご案内



- 2月16日(日) 13:00~15:00 折り紙でバラをつくろう 上級
料金：材料代500円 定員：5名 講師：バラ園スタッフ
- 2月23日(日) 13:00~15:00 洋らん栽培の楽しみ方
料金：無料 定員：40名 講師：川面 豊樹さん えるむ花園